

福大生カフェで寺子屋



「寺子屋べいす」が開催されるカフェ「Vase~Stay & Lounge~」の店内（8日、福島市大町で）

福島「べいす」16日から

子どもの自習支援

福島市大町のカフェに16日、福島大の学生ボランティアによる「寺子屋べいす」がオープンする。子どもの自習をサポートする空間で、スタッフの学生は「いろいろな人が自由に集える場所」と意気込んでいる。

カフェを活用した寺子屋の取り組みは、大学生らでつくるNPO法人「Caf

de 寺子屋」（静岡県藤枝市）が2020年8月から展開している。現在、5都県に8か所あり、「べいす」は9か所目。

「べいす」の代表を務める福島大人間発達文化学類2年の嶋崎絢さん(20)は今年10月、SNSでこの取り組みをたまたま知り、興味を持った。嶋崎さんは茨城県那珂市出身。福島市の豊かな自然に魅了され、「あたたかく、郷土愛の強い人が多い。こんな街で、子どもたちの学びの支援ができたらいいなと思った」といふ。すでに、SNSで立地や雰囲気の良いさうなカフェを探し、福島市大町の「V

ase~Stay&Lounge」を見つけた。オーナーの斎藤友希さん(25)も「学生や若い人の夢を応援できる場でありたい」と快諾した。

小学1年生から高校3年生までが対象で、福島大の2~4年生の計6人がボランティアスタッフとなる。

目指しているのは「対話を通じた学び」で、読みたい本や図鑑などを持ち込んで自由に過ごすことも可能という。嶋崎さんは「学校や塾とは違った、のびのびした雰囲気好きなように学んでほしい。教えるだけでなく、私たちが一緒に学んでいきたい」と話している。寺子屋は毎週木曜日の午後6時から8時まで。予約不要。問い合わせはメール(info@cafe-de-terako.ya.or.jp)へ。

◇
9日午後6時半からは、保護者向け説明会も予定されている。